

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2017年7月28日
野村不動産株式会社

～ ビル内のコミュニティ形成と異業種間イノベーションを生む新たな試み ～ 入居テナント企業同士をつなぐ、「PMO ウォーミングパーティ」開催

野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区/代表取締役社長：宮嶋 誠一）は、当社が開発しているオフィスビルブランド「PMO（プレミアム・ミッドサイズ・オフィス）」シリーズの 21 棟目となる「PMO新日本橋」において、新たな試みとして、入居するテナント企業間の交流を深める「PMO ウォーミングパーティ」を 7 月 27 日（木）に開催しましたので、お知らせいたします。

「PMO ウォーミングパーティ」は、竣工後、全てのテナント企業の入居が完了した時点で、テナント企業同士の顔合わせ、また交流の場を設けることにより、ビル内のコミュニティ形成の促進や異業種交流によるイノベーションのきっかけとなることを目的として開催いたしました。

PMO シリーズの入居テナント企業には、新たなビジネスフィールドを開拓しようとしている成長企業や、従来分野に加え新規事業を展開しようとする老舗企業なども多く、異業種交流の機会を提供する事により、日頃のコミュニケーションのきっかけに併せて、新たなビジネスのヒントとなる、テナント企業同士のつながりの機会創出にもなると考えております。



同様の取組みは、既に住宅分譲事業において 2007 年より、引渡前のマンション入居予定者が集う「ハウス・ウォーミング・パーティ」として開催しております。同イベントは、入居前の「期待と不安」を「期待と安心」にさせていただくために実施されており、同じフロアの居住者が挨拶するきっかけになるなど、コミュニティ形成の一環として好評いただいています。

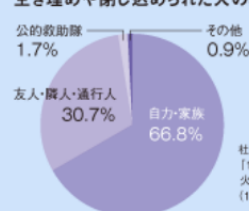
また、阪神淡路大震災による「95%の法則」に基づいた「自助」と「共助」のスムーズな連携をサポートする一環としても実施されており、「PMO ウォーミングパーティ」は、この考え方にも則った形で「有事の際にテナント企業同士が助け合える関係」を築く事も目的に開催されました。

阪神淡路大震災にみる「95%の法則」

阪神淡路大震災で助かった方たちの65%以上が、まず自分と家族の協力で助かっています（自助）。そして、近隣や通行人に助けられた方が約30%（共助）。

「クラウド」では、管理会社である野村不動産パートナーズを通じ自助と共助のスムーズな連携をサポートします。

■ 阪神淡路大震災時に生き埋めや閉じ込められた人の救助



社団法人 日本火災学会
「1995年兵庫県南部地震における
火災に関する調査報告書」
(1996年11月刊行)

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

「PMO ウォーミングパーティ」は、今後も新たに開発する PMO シリーズでも展開していく予定です。引き続き、当社グループの企業理念にある「豊かな時を人びとと共に育む」ようなコミュニティ形成の一助になる取組みを推進してまいります。

物件名	PMO 新日本橋
所在地	東京都中央区日本橋本町 4-3-6
交通	JR 山手線、京浜東北線、中央線「神田」駅南口徒歩 5 分 東京メトロ銀座線、半蔵門線「三越前」駅 A10 出口徒歩 5 分 JR 総武本線「新日本橋」駅 4 番出口徒歩 2 分 東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅 5 番出口徒歩 7 分
規模	地上 9 階、地下 1 階
敷地面積	552.11m ² (約 167.01 坪)
延床面積	3,825.41m ² (約 1,157.18 坪)
竣工	2016 年 11 月

